

生活体験作文でみる在校生の「声」

Q、校内生活体験発表会とは？

A、校内生活体験発表会とは、生徒自身が高校生活で得たものや、入学してできた将来の目標などをテーマに作文し発表する会のことです。本校では例年7月に校内で発表し、地区大会出場者を決めます。発表会は県大会・全国大会とあり、それぞれの出場をめざして学校全体で取り組んでいます。さまざまな歩みをしてきた生徒が多く在籍する本校では、作文の内容もさまざまです。今年度入学生の作文を原文のまま紹介させていただきます。

『私の目標』 平成25年度入学生S・Aさん

私が春日部高校定時制に入学した理由は、中学校の勉強からやり直したいと思ったからです。

中学の頃は、まったくといっていいほど、学校の授業を聞いていませんでした。勉強を意識し始めたのは、中学三年生での高校受験の時です。自分が行きたい学校に合格するために、親に頼んで塾に行かせてもらいました。塾では中学一年生の授業内容から勉強し直すことになりました。しかし、習い始めの頃は自分なりに頑張っていたものの、だんだん勉強が面倒になり、学校にも行かなくなることが多くなりました。当然、塾も長続きしませんでした。

この頃の私は、悩み事が多く、何に対してもやる気が起きず、いい加減に毎日を過ごしていました。

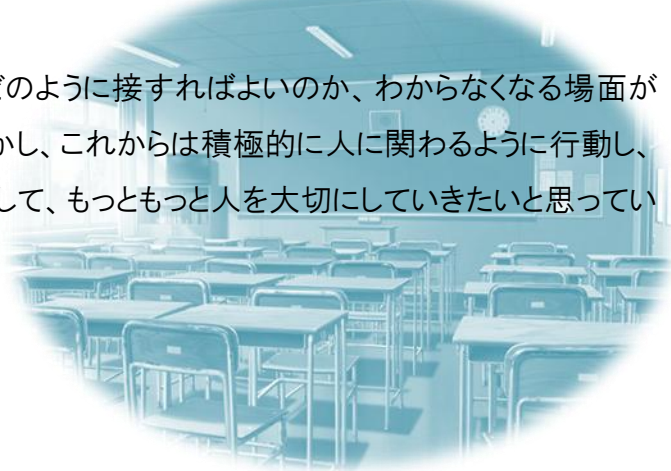
一方で、そんな自分のねじまがった性格やなまけていた生活に不安を感じつつ、自分の将来を真剣に考えたときに、春日部高校定時制に通うことでもう一度いちからやり直すことに決めました。

親には反対されましたが、なんとか説得して無事に入学することができました。その時、私はこの四年間を大切に学校を休まずに通い続け、しっかりした気持ちを持って勉強することを決意しました。

入学してからの私は、何事にも積極的に取り組むようになったと思います。

高校入学後は、人との関わりがたくさん増え、また、勉強に対する意欲をもって努力するようになり、アルバイトも始めました。いま、自分を振り返ってみて、昔とは違う自分を感じる時があります。

これまで、私はあまり面識のない人に対して、どのように接すればいいのか、わからなくなる場面があり、人見知りをしてしまうことが多かったです。しかし、これからは積極的に人に関わるように行動し、人見知りを直せるように努力していきたいです。そして、もっともっと人を大切にしていきたいと思っています。



生活体験作文でみる在校生の「声」

『高校に入る前、入ったあとについて』 平成25年度入学生S・Rくん

私が定時制高校に入学した理由は、小学一年生の時から勉強が苦手だったことです。それでも何も考えずに学校に行っていました。小学五年になってもあいかわらず勉強は苦手で嫌いでもありました。そのせいで、勉強はさらに面倒になり、毎週1回は学校を休んでいました。その状況が小学六年の一学期まで続き、二学期からは全く学校に行かなくなりました。

そして、そのまま中学校に上がりました。中学の最初の頃は、少しは学校に行っていましたが、小学六年の途中から全く学校に行っていないので、ほとんど勉強についていくことができませんでした。

友だちともうまく関係を持ちたかったのですが、勉強についていけなかったことが原因で、また学校を休むようになってしまいました。それからは、毎日友だちと遊んでばかりで、そのまま3年間を過ごしていました。中学3年のある時期から、たとえ勉強ができなくてもきちんと学校に通っていれば、もっとたくさんの友だちをつくれたし、部活動もできたのではないかと後悔の思いが生まれました。

このままでは、出席日数も足りず、高校にも行けなくなってしまう。中学校にきちんと行っていれば、高校にも行けたし、部活動もできたのに、と悩んでいたときに、年上の友だちから、現在その友だちが通っている春日部高校定時制を紹介されました。その友だちからは、「この高校ならば、先生もよく面倒をみってくれるし、勉強が苦手でもコツコツ頑張れば、卒業できるよ」と言ってくれたので、この春日部高校定時制に入学しようと決めました。

現在は、自分の将来の夢を実現するために、勉強や部活動にやりながら友だちづくりも頑張っています。私の夢は、大きな家、バイク、車など自分の好きなものを買って、幸せな生活を送るために安定した職業に就くことです。そして、将来の夢を実現するために一生懸命この春日部高校定時制に通っています。

